

水源山嶽ノ事

吉野川ノ上源ハ四國中最高ノ名アリテ其巔ノ海面上ニ抜ク
 コト數千又トスル所ノ石槌山ヨリ出ツ。石槌山ヨリ東ニ連
 延スル所ノ高山脈ハ上越ノ間ヲ劃界シ、且吉野主支川（エ
 佐ニ於ケル）ト側方ノ一大支川銅山川ト号ケルモノ（伊豫
 ニ在ル）トノ分水界ヲナス。此山脈中最高ノ峯頭ヲ抜クモ
 ノハカモリ山、白川山、三國山之ナリ。三國山ハ上豫阿三
 國其境ヲ接スルノ中間ニ屹立ス
 上豫ノ山脈ト平行シ銅山川ノ左側ニ屹立スル高山脈モ亦水
 界ヲナシ吉野川流域ノ諸川ト内海ニ灌ケル伊豫沿海數多ノ
 小流トヲ兩分ス
 土佐ヲ流ル、吉野主支川ヨリ右方ニハセ山及伊勢山ナル者
 アリ此山嶽モ亦水界ヲナシ吉野川ノ諸支川ト土佐國高知近
 傍ヲ經テ大洋ニ流出スル所ノ沿海諸川トヲ兩分ス
 セ山ノ東吉野本流、右土阿阿國ノ境ニ方リ劍山アリ。此山
 ハ石槌山ニ比スレハ較低シト云々頗ル高山ナリ是亦吉野
 ミツツ中ノ三川流域ヲ分劃スル所ノ水界ヲナス者ナリ

上源ノ山嶽ニ
 巔ノ頂上。

カナモリ山。別國參照

屹立スル山が高くそびえたつ。

上豫ノ山嶽ニ
 屹立スル、巔がのうにけわしく立つ
 數多。多岐

吉野ノ山嶽中
 較低シ。低い。

水源山岳のこと

吉野川の源流は、四国最高の名があり、その頂上は海拔数千尺と
 される石槌山より流れ出す。石槌山より東に連なる高い山脈（石槌
 山地）は、土佐と伊予との境界をなし、また吉野川本流と大支流の
 銅山川との分水嶺をなしている。

この山脈中で高峻な山岳群を抜いている山は、カナモリ山、白川
 山、三國山（三傍示山）である。三國山は土佐、伊予、阿波三國の
 国境の中心にそびえ立っている。

前述の山脈と平行して銅山川の左側（左岸）にそびえる高い山脈
 （赤石山系）も分水界をなし、吉野川流域の諸支流（銅山川等）と
 瀬戸内海へ流れる伊予沿海のいくつかの小流とを分けている。

土佐を流れる吉野川本流より右方（南）には、セコ山、伊勢山とい
 う山があり、この山脈も分水界をなし、吉野川の諸支流と土佐国の高
 知近くを通過して太平洋に流入する沿海の諸河川とを分流している。

セコ山の東で、吉野川本流の右（東）の阿波、土佐の境界にあたる地点に劍山
 がある。この山は石槌山に較べると、少し低いがこれまたすこぶる高い山である。
 これまた、吉野川の三川（祖谷川、貞光川、穴吹川）流域を分割する分水界である。

※1カナモリ山
 高知梶瓶ヶ森か

※2白川山
 山城町の塩塚峰又は劍ノ山か

※3セコ山
 高知梶瓶内川右岸の土佐町の
 山か

※4伊勢山
 土佐町の笹ヶ峰か

<p>劍山ヲ以テ中央ノ秀峯トセル山群中他ニ幾多ノ高峯及中央ヨリ四圍ニ延達スル高山脈アリ其著名ノ山ハ左ノ如シ</p> <p>一字山 <small>カウツ</small> 山 中津山、烏帽子山、木屋平山</p> <p>梶山 半平山 <small>カキウチ</small> 山、榎山 川田山</p> <p>峰田山 <small>ホウシ</small> 山</p> <p>尚又河山群ニ屬スヘキモノハ茨野山及與六山ニ盡レル畑山先ニ田野山ニ盡レル伊豆山及遠山、之ナリ。右諸山ハ徳島ノ南ニ在ル桂川<small>タダラ</small>川、八幡川、流域内ニ散在ス此三川皆津田ノ地ニテ吉野川尾洲嶼ノ間ニ會流ス。徳島近傍ノ八幡山ハ長ニ里ニ亘リ高九百天ヲ抜ケル獨立ノ一山ナリ而シテ鮎喰<small>アサノ</small>（吉野川ノ支流）ハ幡ノ西川流域ヲ雙分スル所ノモノナリ。</p> <p>徳島ノ市中ニ市南ニ又孤立セル函貫ノ山アリ之ヲ圍繞スルニ沖積ノ土塚ニ成レルノ平野ヲ以テス其状恰モ孤島ノ海面ニ立ツカ知シ例スルニ阿波城山、津田が丘、海岸ニ屹立スル千葉山、八幡川沿岸ニ碁布ス、小山ノ如キ皆ナ之ナリ吉野本流ヨリ左側ニ方リ連起スル所ノ山脈ハ阿讃兩國ノ境ヲナシ兵長大約二十里ニシテ撫養海峽ニ至リテ終ル。脈中髙聳ノ山</p>	<p>盡レル。 なくなる。</p> <p>會流ス。 台流す。</p> <p>雙分スル。 ニつに分ける</p> <p>函貫ノ山（虽は巖又は岩に通ず） 斷續。 とりのこむ</p> <p>碁布ス、 りならが</p> <p>髙聳 高くそがえる</p>
--	---

劍山を中央の秀峰とする山群があり、数多くの高山が中央から四圍に延びている山脈がある。その中の著名な山は左のような山である。

一字山 高越山 中津山 鳥帽子山 木屋平山 梶山

半平山 カキウチ山 榎山 川田山 峰田山 ホウシ 山

なお同じ山群に属す山地は、茨野山、及び與六山（丈六山）で尽きる畑山（八多山）並びに田野山で尽きる伊豆山及び遠山である。右の諸山は、徳島（市）の南にある桂川（勝浦川）、タダラ川（多々羅川）、八幡川（園瀬川）の流域に散在している。この三川はすべて津田の地において、吉野川川口の洲嶼の間で合流する。徳島近郊の八幡山（眉山）は長さ二里、高さ九〇〇尺を越える独立の山であり、鮎喰川と八幡川（園瀬川）の流域を分ける山である。

徳島の市中、南部に孤立する岩山がある。これをとりまいて沖積層の土壌からなる平野がある。その状態は、あたかも孤島の海面に立つようなものである。例を挙げると阿波城山、津田が丘（津田山）、海岸にそびえる千葉山（芝山）、八幡川（園瀬川）沿岸に点在する小山のごとき山など、皆これである。吉野川本流より左側（北）にあたって連続する山脈は阿讃両国の国境をなし、その長さ約二〇里で、撫養海峽に至って尽きる。山脈中の高峰は、佐野山（池田町佐野周辺の山）、西

- ※1 中津山 神山町南西の高城山か
- ※2 梶山 友内山か
- ※3 カキウチ山 穴吹町半平付近の山か
- ※4 榎山 美郷村榎山付近の山
- ※5 川田山 川田町南部の山地の総称
- ※6 峰田山 美郷村南部と神山の境の山か
- ※7 ホウシ山 不明
- ※8 伊豆山 徳島市南部の犬山か
- ※9 遠山 徳島市南部の大神子の遠見山か
- ※10 八幡 八幡を發音通りに表記した西洋語から翻訳したために八幡と間違つて表現したものと

峯ハ佐野山、西山、琴平山、東山、大刀野山、小里山、ソエ山、大久保山、板東山、ノ如キ是ナリ

左側支川ノ事

銅山川、銅山川ハ長十八里アリ、伊豫ノ山中ヨリ出ツ、川口村ニ於テ吉野川ニ入ル。此川ハ急流ニシテ舟楫ノ航通ニ適セス。然リト云、吉野川ニ清澄ノ水ヲ給スルマ、甚多量ナルニ由リ、吉野本流、川口村ヨリ下流ニ於テハ航通ノ便ヲ得ルモノナリ。流水ハ時トシテ銅塩ノ氣ヲ帯ヒテ、臭類モ其毒ニ中リ死スルヲアリ

白川、白川ハ尺一糸ノ急流ナレ、其清美ナリ、水源ハ^{ナツ}山ヨリ発ス

尚天ヨリ下方ノ如キハ、讃岐ノ高山南面ノ諸谷ヨリ出ツル、數多ノ潤流アリ、皆短流急流ノ川線ヲ以テ、吉野川ニ入ル。潤流ノ川床ハ平常乾涸ノ状ヲ呈スト、蚤踏濕ノ季ニ至シハ水勢猛進シテ、以テ多量ノ物質^注ヲ^トテ、吉野川ニ輸送ス。著大ノ危害ヲ吉野川ニ生スル所ノ原因主トシテ、此谷ニ賦

ソエ山 Ⅱ 祖江山

銅塩ノ氣、銅のような様子

ト、日事

氏 Ⅱ ドモ

短流急流。みぢかくて急いこと。

乾涸。川や池の水が減りかれる

霜凍ノ季。雨の多い季。ぬれぬうらほい

山、琴平山（箸蔵山）、東山（三好町北部の山）、大刀野山、小里山（美馬町郡里の山）、ソエ山（脇町曾江の山）、大久保山（阿波町大久保の山）、板東山（鳴門市大麻町板東北部の山）などである。

左側支川のこと

【銅山川】銅山川は長さ一八里あり、伊予の山中より流れ出し、川口村（山城町川口）において吉野川に合流する。この川は急流であって、舟の航行には適さない。しかしながら吉野川に清澄な水を供給すると甚だ多量であるから、吉野川本流は川口村より下流では航通の便がよくなる。流水には、時によって銅が混ざり、魚類もその毒にあたって死ぬことがある。

【白川】白川は、ただ一筋の急流であるけれど、その水は清美である。水源はチウゾ山（中曾山）より流れ出ている。

なお右の両川より下流は、讃岐の高い山の南面の諸溪谷より流れ出る数多くの谷川があり、すべて短く急な河川で吉野川に流入する。谷川の河床は平常は涸れているが、雨季には水勢が激しく、従って多量の物質（土砂）を吉野川に運び込む。